

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和6年2月26日

事業所名 フレデリック由布

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○			空間が広いのでゆったり したスペースを確保でき ています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			多機能型の特徴を活か して臨機応変に配置でき ています。	引き続き効果的な業務分担を行い、安心・安全の運営を行っ ていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	○			屋外にスロープがあり、 車椅子が安全に通ること ができます。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	○			朝礼、終礼、申し送りノ ート等を活用し、適宜問題 点の把握・共有を行って おります。	引き続き職員が主体性をもって参画できるよう取り組んでいきま す。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把 握し、業務改善につなげている	○				アンケートだけでなく、保護者様の意見をお聞きできる場の提供 を行っていきたく思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○			ホームページにて公開さ せて頂いております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			○		第三者評価を設け、業務改善に活かせるようにしていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	○			Zoomによる外部研修 や、OJTを実施していま す。年度毎の研修計画 を実行。時間的な制約 はありますが、その中で 実施できています。	引き続き、内部・外部研修とも積極的に計画・参加しています。
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成している	○			ニーズを分析し、サービ ス計画に繋げるよう努力 しています。	よりよいサービス計画ができるように、職員間の話し合いが今以 上に必要。引き続き、よりよい計画が立案できるよう研修等を重 ねていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、 標準化されたアセスメントツールを使用してい る	○			初回聞き取り等のアセス メント票を用いて状態の 把握に努めています。	全ての職員が情報を共有できるようアセスメントツールを最大限 活用できるよう工夫していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			担当を決め、準備から実 施まで行っています。月 ごとのイベントについて もチーム構成を行い、計 画的に進めております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい る	○			計画的に活動が行える ようプログラムを可視化 しています。毎月、活動内 容を考え工夫して策定し ています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	○			長期休暇の際など、対 応の仕方を職員間で話 し合っています。時間の 使い方や雰囲気の違い から、ご利用者様の反 応を見極め、臨機応変に 支援しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			支援手法について、個別活動と集団活動をその子どもに応じて適宜組み合わせて放課後等デイサービスを計画作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			職員間のノートの他にHUGシステムを共有ツールとして活用し、参加できない職員にも周知できるようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			職員間のノートの他にHUGシステムを共有ツールとして活用し、参加できない職員にも周知できるようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			都度、記録を行い、情報の洩れや落としがないよう心掛けています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			担当を決め、計画作成を行っております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			創作・余暇活動、日常生活活動の充実を図っていきます。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			あらかじめ支援担当を決め、情報共有が的確にできるよう工夫しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校・保護者・事業所間で連絡のやり取りを行い、調整を行っております。	年間計画の更新は学校のHPIにUPされることもあるので、都度確認していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○		該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			送迎時や支援会議を開催し、併用先(保育所や幼稚園等)と、情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				適宜対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				適宜対応していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		研修等とも含め、積極的に参加できるよう調整していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			由布市地域自立支援協議会(由布市社会福祉協議会と由布市福祉事務所福祉課共催)に定期的に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			HUGやメッセージを利用し、画像にて分かりやすい情報の伝達を心掛けています。	引き続き、小さな変化も見逃さず、保護者様と共通理解を持って支援していければと思います。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている			○		行政機関や病院などが行っている研修会や相談会などの情報の提供・参画を進めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用開始時の説明、変更事項等があった時の説明を行っています。X(旧Twitter)や事業所内の掲示物等も適宜更新しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				適宜ご対応させて頂いていますが、保護者様が積極的に相談できる場が持てるよう工夫していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		今後の課題として、保護者会が開催できるよう模索しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情受付の体制は整っております。普段より、さまざまなことに耳を傾け、大きな事故や苦情にならないよう努力していきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月、請求時期に必要な情報を書面やメッセージにて情報共有しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報同意書の規定に則り、十分にコンプライアンスを心がけています。できるだけペーパーレスに努めています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			特に送迎時の保護者との意思疎通は大事にしております。	

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			近隣に住む住人や本事業所の不登校児に、事業所で作った料理を提供しています。また、地域の不登校児サークル(NPO法人、学生と提携した)のイベントにも児童とともに参加しています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアルの確認、研修等を定期的に行っております。	非常時に迅速に行動できるようブラッシュアップが必要かと思えます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			BCPについても勉強会や訓練を行い、非常時に備えています。BCP計画についても日頃より見直しを行い改訂していきます。年2回の避難訓練を実施中です。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止委員会を中心に取り組んでいます。外部研修にも参加し、その意識向上に努めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			身体拘束適正化委員会を中心に取り組んでおります。身体拘束マニュアルを作成しており、研修を実施したりし職員間で周知を行っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			意思の指示書がある場合は、指示に従って対応します。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			日頃から0インシデントを共有し、アクシデントを起こさないよう努めています。	